# 様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1 -①を用いること。

学校名	専門学校東京自動車大学校
設置者名	学校法人 小倉学園

1.「実務経験のある教員等による授業科目」の数

- 大物性級のの	教員寺による技者		V / 安X		
課程名	学科名	夜間・通信の場合	実務経験のある教員等による授業科目の 単位数又は授業時数	省令で定める 基準単位数又 は授業時数	配置困難
自動車整備 専門課程 (工業専門課程)	自動車整備科 2級整備士コース	夜 ・ 通信	2015	80×2= 160 時間	
	自動車整備科 1級整備士コース 前期課程	夜•通信	2015	80×2= 160 時間	
	自動車整備科 1級整備士コース 後期課程	夜 · 通信	1841	80×2= 160 時間	
	ボディクラフト 科	夜 ・ 通信	1037	80×1= 80 時間	
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

https://www.taus.ac.jp/quickcode/taus/file/kamoku.pdf

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科	·名			
(困	難である理由)			

# 様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校 法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いる こと。

学校名	専門学校東京自動車大学校
設置者名	学校法人 小倉学園

# 1. 理事(役員)名簿の公表方法

https://www.taus.ac.jp/quickcode/taus/file/meibo.pdf

### 2. 学外者である理事の一覧表

<del></del>	7=++		
常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	弁護士	2022. 1. 13 ~ 2026. 1. 12	法務
非常勤	株式会社役員	$2022. 1. 13$ $\sim 2$ $2026. 1. 12$	法人運営の チェック機能
(備考)			

#### 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	専門学校東京自動車大学校
設置者名	学校法人 小倉学園

# ○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法 や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表し ていること。

(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)

#### 【作成について】

国土交通省の認定する第一種自動車整備士養成施設として確保しなければならない 自動車工学・自動車整備・機器の取り扱い・自動車検査・自動車整備に関する法規の 各授業時間数が確保されているか、また工作・測定・自動車整備・自動車検査の各実 習時間数が確保されているか、教務課学内会議において精査の上、授業科目の設定、 講義内容の検討・検証を行い担当教員に授業配分を行っている。

合わせて外部識者を交えた教育課程編成会議を年2回開催し、授業・実習内容の報告 と意見聴取を行い、職業実践に即した授業・実習が実施できるよう努めている。

#### 【時期について】

翌年度の講義予定を1月から2月に作成し3月に各教員に教科配当している。 外部委員を交えた教育課程編成委員会は当該年度のカリキュラムが確定した春期と 次年度カリキュラム作成前の冬期に行い、春期は意見反映の報告を冬期は次年度に 向けた意見聴取を主な議題としている。

授業計画書の公表方法 | https://www.taus.ac.jp/quickcode/taus/file/syllabus.pdf

2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、 学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定して いること。

#### (授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)

成績評価は学則の実施に必要な項目を定めた細則において年間修業週、1週間の学科・ 実習別の修業時間並びに次元の学習時間を定め、第5条の出欠の確認、第6条に学習成果 把握方法としての試験の規定を設けている。同7条に学科評価および評定規定を設け、学 科評価・評定については

- 1. 学習評価は試験で行う事
- 2. 各教科及び卒業試験の合格は 100 点満点で 60 点以上とする事
- 3. 出席率 90%未満の者は補習を受けなければ成績記録がなされない事
- 4. 修了認定と評価・評定は下記の通りであることを規定している。

評価	100~90 点	89~80 点	79~70 点	69~60 点
評定	AA	A	В	С

実習評価・評定については以下の通り。

- 1. レポート(30 点満点)試験(70 点満点)の合計点で学習評価を行う事
- 2. 合格は 100 点満点中 60 点以上としレポート未提出者の成績は記録しない事、
- 3. 修了認定と評価・評定は下記の通りであることを規定している。

評価	100~90 点	89~80 点	79~70 点	69~60 点
評定	AA	A	В	С

3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとと もに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。

(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要) 【細則】

- 第7条 学科評価及び評定
  - (1)試験により学習評価を行う。
  - (2) 各教科及び卒業試験の合格は100点満点で60点以上とする。
  - (3)各学科目の出席率が90%未満の者は教科の成績を記録しない。但し、補習により、必要な時数を補った場合は、成績を記録する。
  - (4) 各教科の修了認定と評価、評定は次のとおりとする。

評価 100 点~90 点 89 点~80 点 79 点~70 点 69 点~60 点 評定 AA B C

- 2. 実習評価及び評定
  - (1) レポート(30 点満点)、試験(70 点満点)の合計点により学習評価を行う。
- (2)各学習科目の合格は 100 点満点で 60 点以上とする。また、レポートが未提出の場合は不合格とする。
- (3)各実習科目の出席率が100%未満の者は教科の成績を記録しない。但し、補習により、必要な時数を補った場合は、成績を記録する。
- (4) 各実習科目の修了認定と評価、評定は次のとおりとする。

評価 100点~90点 89点~80点 79点~70点 69点~60点 評定 AA B C

客観的な指標の 算出方法の公表方法

https://www.taus.ac.jp/quickcode/taus/file/gakusoku.pdf

4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。

(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)

東京自動車大学校は、学校教育法に基づき、各種自動車の整備技術とその理論知識を 授ける有能な自動車整備士として社会に貢献できる人材の育成を目的として、これま で 8,900 名を超える自動車整備士を輩出してきた。卒業要件については細則 10 条 に規定している。

#### 【細則】

(進級及び卒業の認定)

- 第10条 進級及び卒業の認定は、所定の学科及び実習のうち、別表に定める修得すべき教科の単位修得した者及び進級、卒業試験に合格した者について、校長が認定する。各教科の終了は、次のとおりである。
- (1)各教科の定期試験に合格すること。
- (2) 各教科の履修時間が、別表に定める授業時数の学科 90%以上、実習 100%であること。
- 2.自動車整備科 1 級整備士コースの後期課程においては、2 級ガソリン自動車整備士ならびに 2 級ジーゼル自動車整備士の試験合格が、教科履修の条件となる。

卒業の認定に関する https://www.taus.ac.jp/quickcode/taus/file/ 方針の公表方法 gakusoku.pdf

# 様式第2号の4-②【4)財務・経営情報の公表(専門学校)】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4 -①を用いること。

学校名	専門学校東京自動車大学校
設置者名	学校法人 小倉学園

# 1. 財務諸表等

\(\dagger\) 104 HH \(\dagger\) 1	
財務諸表等	公表方法
貸借対照表	https://www.taus.ac.jp/quickcode/taus/file/zaimu.pdf
収支計算書又は損益計算書	同上
財産目録	同上
事業報告書	同上
監事による監査報告(書)	同上

#### 2. 教育活動に係る情報

#### ①学科等の情報

分	野	課程名		科名		専門士		高度専門士	
工業		自動車整備 門課程		自動車整備科 2級 整備士コース		0			
修業	昼夜	全課程の修		開設	している授業	業の種	類		
年限	生仪	授業時数又に	は総単位数	学科	演習	実習	課外活	舌動	実技
			1439	651 単位時間 /単位	単位時 /単		単位甲	88 時間 単位	単位時間 /単位
2年	昼	単位時間/単位					/単位		
生徒総	定員数	生徒実員	うち留学生	数 専任	教員数	<b>兼任教</b>	員数	総	教員数
	320 人	130 人	54	人 22 0	り内数。	人 4の内	数人	26	の内数人

#### カリキュラム(授業方法及び内容、年間の授業計画)

#### (概要)

様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照

成績評価の基準・方法

#### (概要)

様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の2.及び3.を参照

#### 卒業・進級の認定基準

#### (概要)

様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】のを4.参照

#### 学修支援等

#### (概要)

定期試験の他、各単元の終わりに確認テストを実施し、学修成果の確認を行っている。 授業欠席者があった場合は、クラス担任が必ず本人に連絡を取るとともに、3日以上 の欠席は保護者への連絡・連携を実施している。

# 卒業者数、進学者数、就職者数 (直近の年度の状況を記載) 卒業者数 進学者数 就職者数 (自営業を含む。) その他 70 人 (100%) 22 人 47 人 (1.4%) 1 人 (1.4%)

#### (主な就職、業界等)

国内自動車ディーラー

#### (就職指導内容)

1年次1月に学内で連絡先企業約100社による企業合同ガイダンスを実施。

就職対象者への早期意識付けを図るとともに、面接指導等の就職試験実施訓練を実施。

#### (主な学修成果(資格・検定等))

国家2級整備士(ガソリン・ジーゼル双方)整備士

その他関連する実質的な資格(損害保険募集人、中古車査定士、ソーシャル検定)を

全員受検させるほか、危険物取扱主任(乙4種)などの受験も積極的に推奨・受験させている。

中途退学の現状								
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率						
144 人	18 人	12.5%						
(中途退学の主な理由)								
進路変更	進路変更							
(中退防止・中退者支援のための取組)								
クラス担任による早期カウンセリグ実施。								
留学生への資格外活動制限時間	間遵守の指導。	留学生への資格外活動制限時間遵守の指導。						

分	野	課程名	課程名    学科名		専門士	i	高度専門士		
工業		自動車整備 門課程		自動車整備科1級整備士コース前期課程					
修業	昼夜	全課程の修	了に必要な総	に必要な総 開設している授業の種類					
年限	生权	授業時数又に	授業時数又は総単位数		演習	実習	課外清	舌動	実技
			1439	651 単位時間 /単位	単位時 /単		単位に	88 時間 単位	単位時間 /単位
2年	昼		单位時間 単位 単位時間 / 単位				/単位		
生徒総	定員数	生徒実員	うち留学生	数 専任	教員数	数 兼任教	員数	総	教員数
	240 人	149 人	1	人 22 0	り内数。	人 4の内	数人	26	の内数人

### カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)

(概要)

様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照

成績評価の基準・方法

(概要)

様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の2.及び3.を参照

卒業・進級の認定基準

(概要)

様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】のを4.参照

# 学修支援等

#### (概要)

定期試験の他、各単元の終わりに確認テストを実施し、学修成果の確認を行っている。 授業欠席者があった場合は、クラス担任が必ず本人に連絡を取るとともに、3日以上 の欠席は保護者への連絡・連携を実施している。

卒業者数、進学者数、就職者数(直近の年度の状況を記載)					
	,				
卒業者数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他		
65 人 (100%)	62 人 (  95. 4%)	2人 (3.2%)	1人 (1.5%)		

#### (主な就職、業界等)

国内自動車ディーラー

## (就職指導内容)

基本的に全員が1級後期課程へ学内進学するので、特に就職指導は行わないが、進路 変更により後期課程を辞退し就職を希望する者については2級コース卒業予定者と同様 の指導を実施

#### (主な学修成果(資格・検定等))

1級後期課程への進学条件である2級整備士資格(ガソリン・ジーゼル)の取得他、 2級コースの学生に準ずる。

中途退学の現状				
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率		
131 人	7 人	5. 3%		
(中途退学の主な理由)				
進路変更				
(中退防止・中退者支援のための取組)				
クラス担任による早期カウンセリグ実施。				
留学生への資格外活動制限時間遵守の指導。				

分	·野	課程名	7	学科名		専門士		i	高度専門士			
工業		自動車整備 門課程		自動車整備科1級整 備士コース後期課程			0		0			
修業	昼夜	全課程の修了	了に必要な総	に必要な総 開設している授業の種類								
年限	生仪	授業時数又に	は総単位数 学科		演習	3 3	官習	課外活	舌動	実技		
			1424	557 単位時間 /単位	単位時 / 単	計間 単 単位	803 位時間 /単位	単位時	64 時間 単位	単位時間 /単位		
2年	昼		単位時間 単位時間 単位時間   単位				/単位					
生徒総	定員数	生徒実員	うち留学生	数 専日	教員数	数 兼	任教員	員数	総	教員数		
	240 人	131 人	5	人 22 0	り内数	人 4	の内数	数人	26	の内数人		

### カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)

(概要)

様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照

成績評価の基準・方法

(概要)

様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の2.及び3.を参照

卒業・進級の認定基準

(概要)

様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】のを4.参照

# 学修支援等

(概要)

定期試験の他、各単元の終わりに確認テストを実施し、学修成果の確認を行っている。 授業欠席者があった場合は、クラス担任が必ず本人に連絡を取るとともに、3日以上 の欠席は保護者への連絡・連携を実施している。

### 卒業者数、進学者数、就職者数(直近の年度の状況を記載)

卒業者数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他	
57 人	13 人	44 人	0人	
(100%)	(  22. 8%)	( 77. 2%)	( 0.0%)	

#### (主な就職、業界等)

国内自動車ディーラー

#### (就職指導内容)

後期課程1年次(実質3年生)に学内で進路先企業約100社による企業合同ガイダンスを実施。就職対象者への早期意識付けを図るとともに、面接指導等の就職試験実践訓練を実施

(主な学修成果(資格・検定等))

1級小型自動車整備士

年度の途中における退学者の数	中退率			
4 人	3.1%			
(中途退学の主な理由)				
進路変更・就職・体調不良・修学意欲喪失				
(中退防止・中退者支援のための取組)				
クラス担任による早期カウンセリグ実施。				
留学生への資格外活動制限時間遵守の指導。				
	4人 良・修学意欲喪失 めの取組) セリグ実施。			

分	野	課程名	:	学科名		専門士			高度専門士		
工業		自動車整備 門課程	専ポディ	ず ボディクラフト科		ボディクラフト科					
修業	昼夜	全課程の修	了に必要な総	に必要な総 開設している授業の種類							
年限	生权	授業時数又に	は総単位数	総単位数 学科		演習	IZ IZ	実習	課外沒	活動	実技
			658	Įį	242 位時間 /単位	単位8	寺間 単位	416 単位時間 /単位	単位 /	時間 単位	単位時間 /単位
1年	昼	Ű	単位時間/単位				/単位				
生徒総	定員数	生徒実員	うち留学生	数	専任	専任教員数		兼任教員	員数	総	教員数
	40 人	37 人	8	人	22 O	)内数	人	4の内	数人	26	の内数人

### カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)

(概要)

様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照

成績評価の基準・方法

(概要)

様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の2.及び3.を参照

卒業・進級の認定基準

(概要)

様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】のを4.参照

# 学修支援等

(概要)

定期試験の他、各単元の終わりに確認テストを実施し、学修成果の確認を行っている。 授業欠席者があった場合は、クラス担任が必ず本人に連絡を取るとともに、3日以上 の欠席は保護者への連絡・連携を実施している。

### 卒業者数、進学者数、就職者数(直近の年度の状況を記載)

卒業者数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他	
39 人	0人	39 人	0人	
(100%)	( 0.0 %)	( 100.0%)	( 0.0%)	

#### (主な就職、業界等)

国内自動車ディーラー

#### (就職指導内容)

ボディクラフト科進学前年より就職対象者への早期意識付け進路ガイダンス・企業 説明会等を実施して意識付けを行い担任・進路指導教員による進路指導を実施。

(主な学修成果(資格・検定等))

卒業生全員が車体整備士試験に合格し資格取得した。

中途退学の現状				
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率		
39 人	0 人	0.0%		
(中途退学の主な理由)				
(中退防止・中退者支援のための取組)				
クラス担任による早期カウンセリグ実施。				
留学生への資格外活動制限時間遵守の指導。				

# ②学校単位の情報

### a)「生徒納付金」等

= <u> </u>	11414 7757 11			
学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考(任意記載事項)
自動車整備科 2級整備士コ ース		420,000 円	590,000円	
自動車整備科 1級整備士コ ース前期課程	330,000 円	420,000 円	590,000円	
自動車整備科 1級整備士コ ース後期課程	330,000 円	420,000円	590, 000 円	
ボディクラフ ト科	100,000円	470,000 円	630,000 円	
修学支援	(任意記載事項	)		

# b) 学校評価

#### 自己評価結果の公表方法

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法)

https://www.taus.ac.jp/quickcode/taus/file/jikohyouka.pdf

# 学校関係者評価の基本方針(実施方法・体制)

前年度評価についてホームページで公表。卒業生進路先企業、卒業生、PTA の各関係組織から委員を選出し、学校運営に対する意見聴取、評価を実施している。

#### 学校関係者評価の委員

3 D(D3D) H H H S(D)		
所属	任期	種別
トヨタモビリティ東京株式会社	2022/05/01 ~	企業等委員
	2024/04/30	
日産東京販売株式会社	2022/05/01 ~	企業等委員
	2024/04/30	
株式会社トヨテック	2022/05/01 ~	企業等委員
	2024/04/30	
ボディショップスズキ	2022/05/01 ~	卒業生
	2024/04/30	

#### 学校関係者評価結果の公表方法

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法)

https://www.taus.ac.jp/quickcode/taus/file/hyoukahoukokusho.pdf

### 第三者による学校評価 (任意記載事項)

### c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法)

https://www.taus.ac.jp/

#### (別紙)

- ※ この別紙は、更新確認申請書を提出する場合に提出すること。
- ※ 以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「-」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

学校コード	H113312200059		
学校名	専門学校 東京自動車大学校		
設置者名	学校法人 小倉学園		

1. 前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間	
支援対象者(家計急変 による者を除く)		45人	44人	48人	
内訳	第I区分	24人	24人		
	第Ⅱ区分	15人	13人		
	第Ⅲ区分	-	_		
家計急変による 支援対象者 (年間)				0人	
合計 (年間)				48人	
(備考)					

- ※ 本表において、第Ⅰ区分、第Ⅲ区分、第Ⅲ区分とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令(令和元年政令第49号)第2条第1項第1号、第2号、第3号に掲げる区分をいう。
- ※ 備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。
- 2. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数
- (1)偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	0人
----	----

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学(修業年限が2年のものに限り、認定専 攻科を含む。)、高等専門学校(認定専攻科を含 む。)及び専門学校(修業年限が2年以下のもの に限る。)	
	年間	前半期	後半期
修業年限で卒業又は修 了できないことが確定		0人	0人
修得単位数が標準単位 数の5割以下 (単位制によらない専門学校 にあっては、履修科目の単位 時間数が標準時間数の5割以 下)		0人	0人
出席率が5割以下その 他学修意欲が著しく低 い状況		0人	0人
「警告」の区分に連続 して該当		0人	0人
計		0人	0人
(備考)	これ フ.相 人) テコ 掛 小 フ.マ		

<sup>※</sup>備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の(2)のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であって、当該学業成績が著しく不良であることについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遡って認定の効力を失った者の数

右以外の大学等		短期大学(修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。)、高等専門学校(認定専攻科を含む。)及び専門学校(修 業年限が2年以下のものに限る。)			
年間		前半期	0人	後半期	0人

(3) 退学又は停学(期間の定めのないもの又は3月以上の期間のものに限る。) の処分を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

退学	0人
3月以上の停学	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

3. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

停学(3月未満の期間のものに限る。)又は訓告の処分を受けたことにより認定の 効力の停止を受けた者の数

<u>//// 1 = = 20 // 10 = - 20 // </u>	
3月未満の停学	0人
訓告	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

4. 適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

<u>+ . 週俗配足における  </u>		<u>、                                    </u>	<u>X</u>
	右以外の大学等	短期大学(修業年限が2年のものに限り、認定 攻科を含む。)、高等専門学校(認定専攻科を む。)及び専門学校(修業年限が2年以下のも に限る。)	
	年間	前半期	後半期
修得単位数が標準単位 数の6割以下 (単位制によらない専門学校 にあっては、履修科目の単位 時間数が標準時間数の6割以 下)		0人	0人
G P A 等が下位 4 分の 1		0人	0人
出席率が8割以下その 他学修意欲が低い状況		0人	0人
計		0人	0人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。